

令和7年度 第3回 全国健康保険協会千葉支部評議会概要報告（速報）

開催日	令和8年1月15日（木） 14:00～16:30
開催場所	日本生命千葉駅前ビル4階 千葉支部会議室
出席者	尾関評議員、椎名評議員、新谷評議員、中曾根評議員、長根評議員、中野評議員、宮本評議員、山口評議員、山本評議員（五十音順）
議題	<ol style="list-style-type: none">インセンティブ制度における令和6年度実績について【報告事項】令和8年度千葉支部保険料率について【審議事項】令和8年度支部事業計画（案）及び支部保険者機能強化予算（案）について【審議事項】その他報告について【報告事項】
議事概要（主な意見等）	
事務局より、各議題について説明を行った。 各評議員からのご意見等は以下の通りである。	
1. インセンティブ制度における令和6年度実績について【報告事項】	
【被保険者代表】 インセンティブ制度導入時より意見を述べているが、都市部等の加入者が多い支部には不利な制度だと感じている。その中で、他支部と同じように取り組むだけでは順位は上がらない。得点の伸びが期待できる項目を重点施策に設定する等、メリハリをつけて取り組んでいただきたい。	
【学識経験者】 特定健診や特定保健指導の実施率等、前年度より順位が上がっている項目もあり、これまでの各施策の効果が表れている部分もある。効果が得られる部分を伸ばし総合的に順位を上げられるとよい。	
2. 令和8年度千葉支部保険料率について【審議事項】	
【被保険者代表】 被保険者の立場としては平均保険料率が引き下げになることは喜ばしいが、そもそも2～3年前の時点で引き下げが可能だったのではないか。今回、政府方針や厚生労働省からの要請等もあり総合的に判断した結果であったとされているが、これからも不透明な経済状況が続していくことが見込まれるなか、財政状況のシミュレーション等を踏まえ支部評議会でも議論を深めて、平均保険料率の引き上げ・引き下げについてのメルクマールを確立し、実施することが重要である。	

【事務局】

平均保険料率の議論においては、協会けんぽの中長期的に安定した財政運営を維持していくという観点が重要であったが、今回は医療保険制度全体の大きな枠組みの中で、現役世代の負担軽減という改革を行うにあたり、協会けんぽの平均保険料率引き下げという対応を求められたところである。

【学識経験者】

今後も中長期的な視点を踏まえ、急な保険料率の上げ下げが無いようお願いしたい。

【被保険者代表】

今回、健康保険料率は引き下げとなったが、介護保険料率の引き上げや新たに始まる子ども・子育て支援金率を含めると実質的には引き上げであり、被保険者の立場からすると負担増を感じている。次年度以降はこのような観点からも議論を行ってほしい。

【事業主代表】

賃上げが求められる現状においては従業員が負担増を感じ難いが、今後、賃上げが落ち着いた際に改めて負担増を実感することが危惧される。保険料率の変更及び新たに始まる子ども・子育て支援金制度に関する周知広報をしっかりと行っていただきたい。

【事業主代表】

今回、新聞報道等で協会けんぽの平均保険料率が引き下げとなったことは大きく報じられており、多くの方々が知っていると思うが、新たに追加徴収となる子ども・子育て支援金については気が付いていない方もいると思われる。

【事業主代表】

地域性や事業規模、業種間の格差がある中で保険料は被保険者と事業主が折半であることも踏まえ、従業員にも理解が得られるよう説明しないといけない。特に新たに導入される子ども・子育て支援金制度については、従業員から様々な疑問が出てくることも想定される。そのためにも、協会けんぽとして丁寧な周知広報を実施していただきたい。

【被保険者代表】

子ども・子育て支援金については、徴収の主体である医療保険者だけではなく、国として国民に対して説明責任を果たすべきである。

3. 令和8年度支部事業計画（案）及び支部保険者機能強化予算（案）について【審議事項】

【被保険者代表】

DX の推進といえば IT や AI を想起するが、中身としては事業・業務・人材の変革である。他の業務の片手間に行うのではなく、本部だけでなく支部においても DX 専属の担当課を置いて重点的に取り組むべき。

【事務局】

支部への専門部署の創設となるとすぐにはできないが、現在、協会けんぽでは「全員参加型運営」を組織として目指しており、その一環として DX の推進も含めた新たな取組や業務の在り方の見直し等を行うべく「2030 ビジョン」策定プロジェクトと称した 2030 年代前半の協会けんぽの在り方について全職員による議論を進めている。部署の違いや正職員・契約職員といった立場の違いもある様々な職員がいる中、それぞれが抱える想いや加入者・事業主のニーズを考え、縦と横の連携を図りつつ新たな事業の構想を検討・実施しているところである。

【学識経験者】

DX の推進については支部内で検討したことを本部に要望することも大事であるが、評議会の中でも議論しアイデアを出して進めていきたいと考える。

【被保険者代表】

令和 8 年度の支部保険者機能強化予算の合計が令和 7 年度とほぼ同額となっているが、事業実施にあたりターゲットの選定をしっかりと行っているのか。

【事務局】

支部保険者機能強化予算は加入者数等に応じて本部から各支部に予算上限額が割り振られているところ。限られた予算枠内で支部の課題や注力すべき事業に応じて予算案を策定している。例えば、令和 7 年度まで行っていたジェネリック医薬品使用促進にかかる広報の予算を、現時点でジェネリック医薬品使用割合が 90% 近くになったことを踏まえ令和 8 年度は事業を縮小し、千葉支部の健康課題が多い業態の一つである運輸業の被保険者への有効な広報手段であるラジオ CM を活用した医療費適正化及び生活習慣改善等に関する啓発広報を実施する事業の予算に置き換えている。このように、現状の課題を整理し、ターゲットを意識した事業に予算を活用してまいりたい。

【被保険者代表】

けんぽアプリの活用について、従来行っている被保険者への広報用リーフレット配布をアプリ内で配信することに置き換えることで、より認知度向上かつ費用対効果のある広報になると思う。また、例えば千葉支部の健康課題である咀嚼能力が低いことの解決に向けて、アプリ内で食事の際の咀嚼状況のセルフチェック（○・△・×付ける等）を行う機能

や食事内容の記録、睡眠計測機能等を付けることで、利用者自らの健康増進を促すことに繋がると思うので今後の展開に期待したい。

【事務局】

今月からスタートするけんぽアプリについては、まずはバージョン0として、電子申請や健康コンテンツの配信を中心にスタートする。将来的には健診結果から病院治療の必要な方に対する受診勧奨の通知や、現金給付の申請漏れがある方への申請勧奨をダイレクトに送るサービスを想定している。また、さらには他保険者等とも連携する仕組みを構築し、全国民が利用できるアプリを目指すことを構想している。今後の状況については評議会においても随時報告させていただきたい。

【被保険者代表】

令和8年度から新たに開始する人間ドック健診の案内の時期や方法等について教えていただきたい。

【事務局】

本年3月末頃に事業所あてに例年行っている生活習慣病予防健診のご案内と併せて人間ドック健診開始についてのご案内を封書で送る予定である。また、広報についても地方第一紙への掲載や県内関係団体、健康保険委員等を通じたチラシの配布を行う。そのほか、生活習慣病予防健診（一般健診）について20・25・30歳にも対象者拡充となることから若年層にも周知を図るためInstagram等を活用した広報を今年度中に行う予定である。

【事業主代表】

運輸業被保険者をターゲットとしたラジオCMの実施についての詳細を教えてほしい。

【事務局】

県内の全域がカバーできる受信エリアがあり、かつエリア内の聴取率が最も高いラジオ局で年間を通してCMを流すことを検討している。調達については適正な金額を見極め進めてまいりたい。

【学識経験者】

被扶養者の特定健診未受診者への電話による受診勧奨事業について、昨今は不審な電話勧誘等が相次いで発生していることを鑑みると、対象者になかなか電話に出ていただけないことも懸念されると思う。

【事務局】

電話勧奨の実施にあたっては、まず対象者へアンケートを送付しそこで記載いただいた電

話番号への架電を想定している。アンケートの案内方法等を工夫して行ってまいりたい。

【学識経験者】

施策によっては文書勧奨の方がよい場合もあるので、時流や目的に見合った一番良い方法で実施をお願いしたい。

【学識経験者】

重症化予防対策事業の対象者への通知についてナッジ理論の活用等の工夫も必要。通知対象者は仕事が忙しくて受診できない方や自覚症状がない方が殆どだと思うで受診したくなる内容を工夫して通知いただけたらよいと思う。

4. その他報告について 【報告事項】

特に意見なし。

特記事項	次回は令和8年3月に開催予定。
------	-----------------